



**IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM**



**練習の絶好調ムードを予選で崩してしまうも
第8戦でしっかり挽回、8台抜きを果たして8位入賞!**



FIA-F4選手権シリーズ第7戦、第8戦

2018年8月4日～5日 富士スピードウェイ（静岡県）

晴れ 15周（34台出走）

ドライバー：平木玲次

第7戦 予選17番手／決勝28位

第8戦 予選16番手／決勝8位



茨城トヨペットレーシングは今シーズンから GR 86/BRZ レースと併せ、インギングモータースポーツとジョイントして FIA-F4 選手権シリーズにも挑むこととなった。起用するドライバーの平木玲次選手は、チームを移籍して3年目のシーズンを戦う。

全7大会14レースの開催が予定されているシリーズ第4大会の舞台は富士スピードウェイ。その予選と決勝レース第7戦が8月4日（土）に、決勝レース第8戦が5日（日）に行われた。

前回の鈴鹿サーキットでは追突を食らって0周リタイヤ、そしてセーフティカーに先導されたままチェッカーという、玲次選手にとって不完全燃焼だけが残る週末だったが、2か月ものインターバルで悪しきイメージは十分払拭できていたようだ。木曜日と金曜日、2セッションずつ行われた専有走行では、いずれも上位につけて、総合のトップタイムが記された金曜日のセッション1では5番手につけたばかりか、トップのコンマ2秒遅れにおさめていたからだ。

ところが、そんな絶好調感が予選でピタリとなりを潜めることとなる。上位が早々に専有走行を上回る1分45秒台に叩き込む中、玲次選手は1分46秒台の半ばが精いっぱい。30分間の計測をフルに利用して果敢に攻め込み、ラストアタックで1分46秒301を記して17番手、セカンドベストタイムは1分46秒383で16番手に留まってしまう。

「昨日までのいい流れが……。鈴鹿みたいになってしまいました。新品タイヤでの上がり幅が狭くて、昨日は改善できていたんですが、今日はまた。原因が自分にあるのか、クルマにあるのか分からなくて。ただ、中古タイヤでのコンスタントラップは悪くないし、15周と長いレースなので、追い上げられるよう頑張ります」と玲次選手。

この週末に限らず、夏を迎えてからというものの猛暑が続いていて予選同様、第7戦決勝レースも厳しいコンディションの中での戦いとなった。17番グリッドから「スタートはちょっと失敗気味でした」と語る玲次選手ながら、インフィールドでの挽回により、結果的にひとつポジションを上げることに成功。その後も激しいバトルを繰り広げながら、次第にポジションを上げていく。13周目には11番手に浮上し、ポイント圏内が見えてきたばかりか、前に行く車両との間隔はごくわずか。

最終ラップにチャンスは訪れたかと思われた。しかし、ヘアピンで逆転を狙い、抜きかけたところで接触が……。さらに姿勢を乱したところに後続車両にも追突されて、玲次選手はその場でマシンを止めることとなった。玲次選

手はもちろん、マシンにも大きなダメージがなかったのは不幸中の幸い。チェッカーを受けることはできなかったが、28位での完走扱いにはなった。このレースでの少なからぬ収穫は、ベストラップがトップとコンマ1秒落ちの1分46秒894だったこと。すなわちトップグループにいても引けを取らなかったわけで、やはり予選結果が惜しまれる……。

16番手スタートとなる第8戦決勝レースは、まずはポジションキープからの発進となるが、またもインフィールドで1台をかわして、オープニングラップを玲次選手は15番手で終える。コンスタントラップには自信があると語っていただけあって、その後も冷静に前に行く車両を抜き続け、5周目には12番手にまで浮上する。そこから先は相手が手強く、なかなか逆転を許してくれないが、この集団から抜け出すことができれば、一気に9番手にまで浮上することが可能である。

冷静にチャンスを待った玲次選手は、まず12周目から相次いでオーバーテイクショーを披露。このあたりは、第7戦の反省点が活かされた格好だ。最終ラップにも決めたばかりか、先行する車両の接触による脱落もあったことから、8位でのフィニッシュを果たすこととなった。

少々アップダウンの激しかったレースウィークではあったが、最後にしっかり玲次選手は修正を果たしていた。第5大会の舞台はスポーツランドSUGOで、9月15～16日に開催される。いよいよ勝負の時は近づいた。

平木玲次選手のコメント



「今回は練習までいい流れで、どんどん良くなっていく感じがあったんですが、予選になってタイムの出し方がうまくいかず、中団に沈んでしまいました。それでも、ユーズドタイヤでのロングランのペースが悪くないのが分かったので、昨日もポイント圏内近くまで追いつけていたんですが、最終ラップに接触してしまい、もったいないところがありました。今日は、昨日のことがあったので、落ち着いて1台ずつ抜いていこうというのがありました。最終的に8位まで上がったので、ポイントは最低限取れたので良かったと思います。新品タイヤの使い方、これが今いちばんの課題です。これさえなんとかできれば、もっと楽に戦えるはずなので」

